

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	長野 丸山
全体計画					経費区分			経常的経費		内線	3254
事務事業名	14626 小規模水道施設維持管理事業										
所 属	121000 市民環境部・生活環境課										
施 策	06023200 水環境の保全と水道水の安定的な供給										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040301 衛生費・水道費・水道費									
	事業	010000 小規模水道施設維持管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
峰の原地区の住民に安心して安定的な水を供給する。						峰の原地区の住民に安心して安定的な水を供給するために、適切な維持管理を行う。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 実績
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
4月1日より、須坂市峰の高原飲料水供給施設として、市営化による水道事業の運営スタート。	区域内住民への安定給水の維持確保に努める。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		0	6,360
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	1,800
一般財源		0	4,560
人員数(人)	正規職員	0.0	0.8
	嘱託職員	0.0	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	5,720.0
	嘱託職員	0.0	862.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	6,582.5
市民一人当たりの経費		0.0	0.2
総額		0.0	12,942.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3,055	消耗品費125、燃料費30、光熱水費（電気料）1400、修繕料1500
13節 委託費	3,005	施設管理委託料2,530、水質検査委託料439、量水器取付委託料36
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	300	通信料（郵便料）43、（電話料）36、手数料18、借上料（共架料）23、システム使用料（残塩計）180

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	安全安心な水道水の安定給水に努める。 事業スタートしたところなので、一つ一つ確実に積み上げていく。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	安全安心な水道水の安定給水に努める。 事業スタートしたところなので、一つ一つ確実に積み上げていく。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	事業スタートしたところなので、一つ一つ確実に積み上げていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

平成30年12月に須坂市峰の原高原飲料水供給施設給水条例及び同施行規則を制定し、平成31年4月1日より、須坂市峰の原高原飲料水供給施設として市営化による運営がスタートした。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
平成31年4月1日に須坂市峰の原高原飲料水供給施設として市営化され、区域内住民へ安心かつ安定的な水を供給するためにも重要な事業である。		民間事業者から平成31年4月1日に須坂市峰の原高原飲料水供給施設として市営化されたため、引き続きエリア内に安心かつ安定した供給を行う管理運営が重要である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	